

# 令和3年度 高志中学校1年「高志学」校外研修（足羽山）

1 期 日 6月18日（金）

2 目 的（1）ふるさと福井における自然や歴史を知る。

（2）事前・事後学習を通して、調査の仕方、レポートの書き方、発表の仕方について学ぶ。

（3）高志中学校生徒としての心構え、集団生活を送る上でのルールを学び、共に学ぶ仲間同士の間人間関係を深める。

3 場 所 福井市水道記念館、橘曙覧記念文学館、愛宕坂茶道美術館

福井市自然史博物館、足羽山動物園

4 参加生徒 90名

## 5 報 告

福井市内の様々な種類の施設を訪問し、多くの生徒があらためて気付くことも多く充実した研修となりました。

### [福井市水道記念館]

この施設は、一本木浄水場から足羽山配水池へ水道水を揚げるための施設「足羽揚水ポンプ場」として、大正13年から平成3年まで使用されていました。実際に使用されていたドイツ製の4台のモーターポンプと東京芝浦電気株式会社が製造した1台の大型ポンプを見て、仕組みを学ぶことができました。



### [橘曙覧記念文学館]

毎日の身近な人々の暮らしの中にある食の楽しみや労働風景などを歌にした52種の連作「独楽吟」が、歌人に影響を与えました。また、平成6年に当時の天皇皇后両陛下が訪米された際の歓迎スピーチで、ビル・クリントン大統領が曙覧の「たのしみは朝おきいでて昨日まで無かりし花の咲ける見る時」を引用したことを知り、「福井県民として誇りに思う」と生徒が感想を述べていました。



### [愛宕坂茶道美術館]

訪問した当日は、企画展「侘びたり寂びたり」の会期中でした。不完全なものの中にある美しさを見出す心である「侘び」、古びたものの中にある独特の味わいを感じる心「寂び」の茶道具が展示されていました。茶道を習っている生徒からも「五感で茶を楽しむ」ことを教えてもらいました。季節によって使い分ける茶道具や掛け軸を見て楽しむことや、茶室の静寂な中で茶を立てる音や柄杓からこぼす湯の音を楽しむことなどを学びました。



### [福井市自然史博物館]

足羽山に生息・生育する動植物の実物標本や自然をシーンごとにしたジオラマ、地球誕生からの郷土の歴史コーナーを見学しました。特に、生徒は「タヌキが土に還るまで」の映像に関心を示していました。死んだタヌキは、十日余りで肉や内臓の柔らかい部分がなくなりました。昆虫から鳥、哺乳類まで様々な動物が死体の分解に関わっており、自然界の仕組みがよくわかりました。



### [足羽山公園遊園地（動物園）]

約60種類の動物を見学しました。興奮したアオメキバタン（オウム）の鳴き声をマネをする生徒やプレーリードックをスケッチする生徒が見られました。見学後、施設内の遊具で友だち同士の交流を深める生徒もいました。

